コントロールを確認する

Beam Benchの使い方を知る

主なワークスペースを確認し、バージョンを記録して、元に戻せるレイアウトと設定の変更を行います。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

ソフトウェアの練習とレビュー

プロジェクト演習では**機械なし**を選択したまま、**未接続**の状態を維持します。提示された操作値はソフトウェア上の例であり、テスト済みの材料レシピではありません。元のファイルを保持し、自分の作業は別に保存します。

デザイン	実行	ウィンドウ
アートワークを作成する	計画と制御	パネルとレイアウト

ワークスペースやパネルのレイアウトを変更しても、ジョブは開始されず、描画も変更されません。

1. **workspace-tour.lzrproj**を開きます。グリッドはワークスペースを表します。後で「開始位置」によって、ジョブ用のアートワークの配置が決まります。

2. 左側に描画ツール、パネルにレイヤー、プロパティ、アウトライナーがあります。デザインには描画ツールが表示され、実行にはジョブと機械のコントロールが表示されます。ワークスペースを切り替えてもジョブは開始されません。

3. macOSではBeam Bench > Beam Benchの概要を使用します。Windows/Linuxではヘルプを開きます。問題を報告する前にバージョンを記録します。

4. macOSでは環境設定を開き、Windows/Linuxでは編集 > 設定を開きます。Cmd + commaまたはCtrl + commaで開けます。任意の変更を行う前に、現在の設定を記録します。

5. 「単位とグリッド」には「表示単位」と速度単位があります。このコースではミリメートルを使用します。秒あたりの速度と分あたりの速度は60倍異なります。

6. 「一般」で、起動時に更新を確認する設定を確認します。提供された更新をインストールする前に、作業を保存し、実行中のジョブを完了します。

配置と復元

配置と復元

1. アートワークを変更せずに、レイヤー、テキスト、実行を見つけます。

2. パネルタブをドラッグして利用可能な端にドッキングするか、キャンバス上に移動してフローティングします。練習用レイアウトで作業します。

3. F12でサイドパネルを非表示または再表示します。メディアキーを使用するキーボードでは、ファンクションキー用の修飾キーが必要な場合があります。

4. 「ウィンドウ」で個別のパネルを再度開きます。「デフォルトレイアウトにリセット」で既定の配置を復元します。

5. 必要に応じて表示テーマを選択し、保持したい設定変更だけを「保存」します。保存したプロジェクトでは、アプリのすべての設定は復元されません。

6. デザインに戻り、変更した場合は練習用アートワークを別に保存します。

バージョンはどこで確認しましたか？

見つからないパネルを復元するコマンドと、レイアウトをリセットするコマンドはそれぞれどれですか？

クイックリファレンス

クイックリファレンス

ワークスペース
デザインはアートワークの編集に使用します。実行は配置、プレビュー、ジョブの操作に使用します。

単位
20 mm/sは1200 mm/minに相当します。速度ごとに単位を確認します。

設定
既存の値を記録し、試した変更が役に立たない場合は元に戻します。

パネルの表示
F12でサイドパネルを切り替えます。「ウィンドウ」には個別パネルのコントロールと、既定のレイアウトに戻す操作があります。

バージョンとオペレーティングシステム:

優先する表示単位と速度単位:

保持または復元する設定とレイアウトの変更:

ファイルと比較

ファイルと比較

Beam Benchの概要
フォルダーa-tour-of-beam-bench。**workspace-tour.lzrproj**。この章の入力ファイルと比較ファイルをまとめて保管します。

試行後に比較を使用します。指定された寸法、設定、オブジェクト構造を確認します。